

のうきよう ちゃん



'89 **2**
No.170

農協の財務状況

昭和六十三年、十二月末における農協の財務状況を次のグラフの通りお知らせ致します。

貸付金

総額で三億一千五百万円減少し、前年比九十六%と以然として大巾な減少が続いております。主なもの

は受託資金、農業近代化資金、農林漁業資金等です。

貯金

前年比一〇三・六%、二億二千万円の延びとなりましたが、前年に次ぐ低い延びとなっております。金融情勢の厳しい中ですが、目標にむけて努力しておりますので、組合員の皆様方の御協力をお願い致します。

借入金

受託資金、長期借入金の返済、当座借り越の減少等により三億八千五百万円の減となっております。

自己資金、固定資産

自己資金は延び率が低くなっております。固定資産はバルククーラーの導入等により増加し、前年比一〇七・四%となっております。

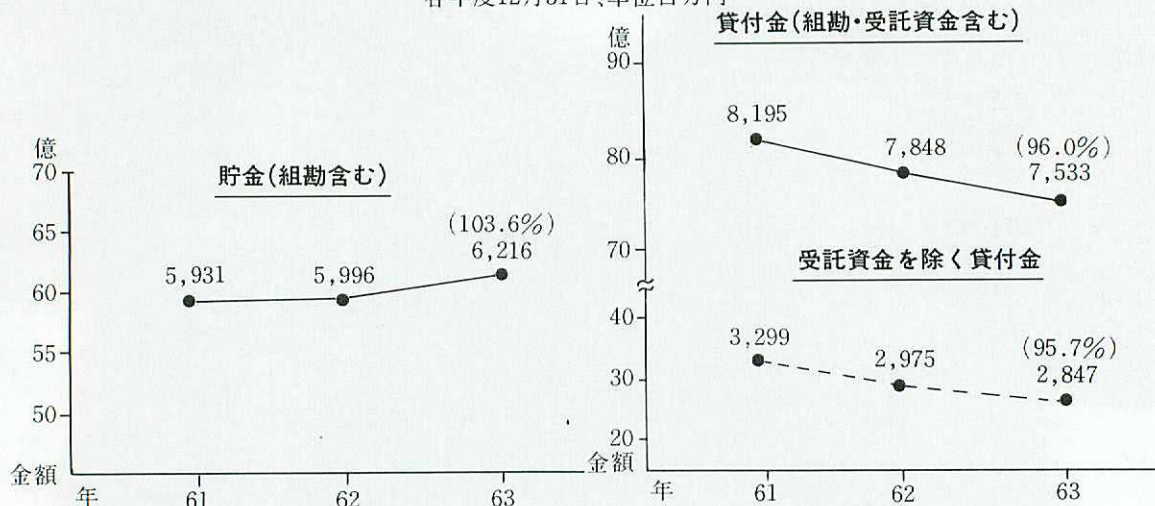
販売事業

総額で一億九千六百万円減少し、前年比九十七%となっております。育成牛の留保による売却減、澱粉の低価格等が主要因と見られます。

購買事業

配合飼料、燃料等の取扱いが増加しており、総額で一億一千九百万円の供給増で前年比一〇三・九%と延びております。生活店舗についても前年実績をクリアしております。

各年度12月31日、単位百万円



知っておきたい



の知識

根室税務署

所得税の確定申告は

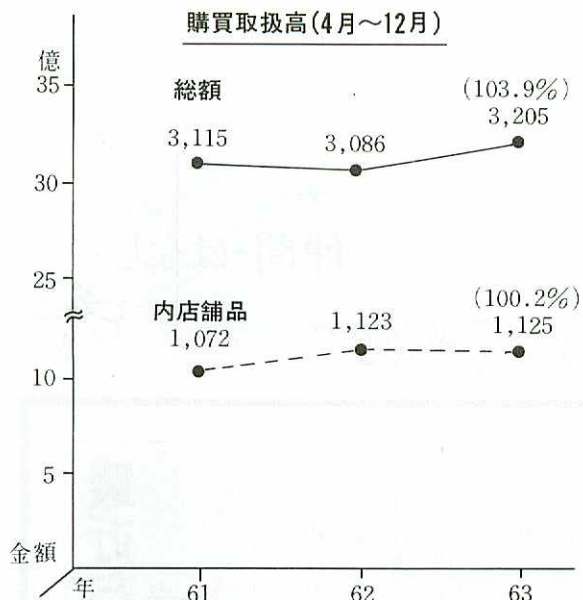
正しく、お早めに

昭和六十三年分の所得税の確定申告は、二月十六日から始まります。申告期限は三月十五日ですが、期限間近になりますと税務署は大変混雑し、落ち着いて相談できなかつたり、長時間お待ちいただくようなことになりかねません。確定申告はできるだけ早めにお済ませください。

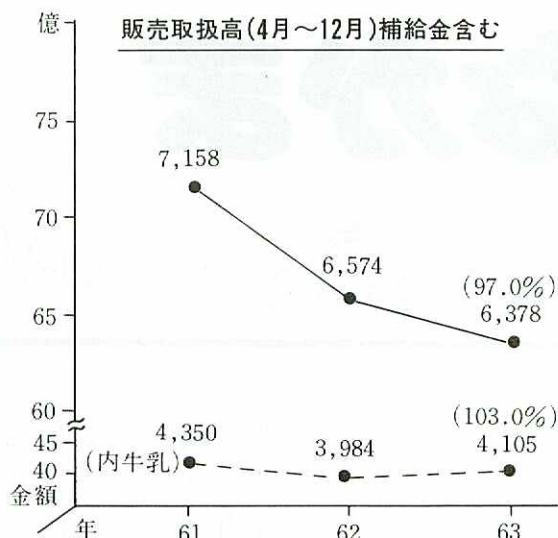
正しい確定申告書を

所得税は、自分の所得の状況を最もよく知っている納税者が、自ら税法に従って自分の所得と税額を正しく計算し

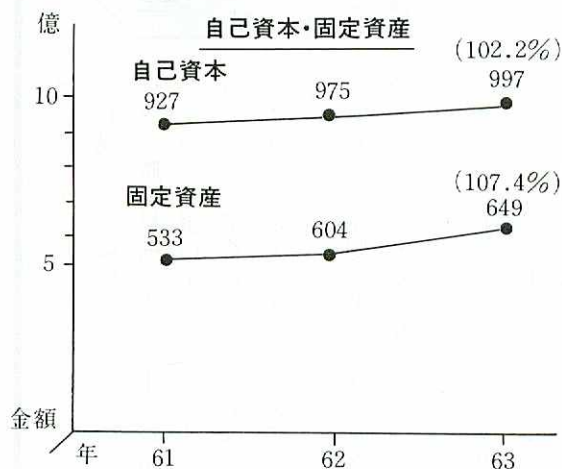
購買取扱高(4月～12月)



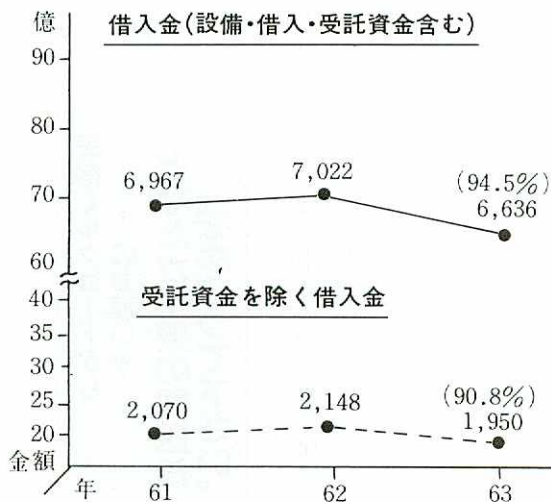
販売取扱高(4月～12月)補給金含む



自己資本・固定資産



借入金(設備・借入・受託資金含む)



て申告し、納税するという申告納税制度を採用しています。昨年一年間の所得と税額を正しく計算し、お早めに申告と納税を行ってください。

白色申告者も、収支内訳書の添付を

事業所得、不動産所得、山林所得(これらを事業所得等といいますが)を生ずべき業務を行っている場合(青色申告書を提出する場合を除きます)は、昭和六十三年分の確定申告書を提出するときに、その年の総収入金額や必要経費の内容を記載した収支内訳書を添付しなければなりません。

申告書を自分で書くときは

申告書を書くときには、「所得税の確定申告の手引き」や「申告書の書きかた」を参考にしてください。「申告書の書きかた」に示されている番号順に記入していくと、所得や税額の計算が簡単にできるようになっています。部に△印をつけてください。

なかま

仲間・はなし



最近ちよつと

思つてゐた

ペンネーム 風太郎

農産物自由化圧力と相まって巷では農業に関する話題が絶えないが、消費者も巻き込んだの論議は大いに結構なことと思う。(農民からの発言が少ないように思えるのが少々残念)

生産者の側もいつまでもメーカーや団体の顔色ばかりうかがっていると、単に選抜淘汰されるだけで、メーカーは輸入食品加工メーカーとなり下がり、そのうち国内生産者は一軒もなし、なんてことになるやも知れず。

最近の乳質規制について、行き過ぎに感じているのは、小生だけだろうか。

体細胞―食品衛生法にもない基準を自らの足かせにして、一体どうするのか。そもそも体細胞云々は、潜在性乳房炎に関する研究テーマが、勝手に一人歩きしたもの

ではないかと思っている。

私見だが、取引基準にするにはいまだ時期早尚に思う。牛乳が余っていると言いつくしては、メーカーにとって都合の良い牛乳ばかりをかすめ取る方策だったのではないか。

もし、体細胞に関する味覚試験のデータがあるのなら、公表してほしいものだ。

ちなみに我家の百万以上はあり、そんな牛乳を試飲してみたならば、これが美味しいのなんのって。

民宿ミルクロードから

……のお願い!!
どなたか不要の輸送缶
をゆづつて下さい。

以前は、南武佐の部落会館だった建物を二人の青年が、"民宿ミルクロード"として改修、オープンさせたのが昨年の夏。

いま、農家で使用されずに、サビて朽ちている輸送缶をリサイクルし、民宿で傘立て、ドライフラ

ワーの花器等、色々な用途に再利用したいとの事で、もし、捨てられるだけ待っているような輸送缶がありましたら、連絡して下さい。また、この二人ただいま独身花嫁募集中。

連絡先 民宿ミルクロード
電話―四二二一〇九番

すずめのお宿も

三食、昼寝つき

閉居人

今年は暖冬で雪も少ないので、集まってくる野鳥は種類も羽数も少ない。

住宅の西側に梨の苗を植え、果実がなるようになってから、あかげら・ひよどり、の夫婦が飛んでくるようになり餌付けをするようになった。それまでは、すずめの親子と本家と分家の集まりで、二十数年にもなる。

冬の餌があると春の巣造りも近

みんな、

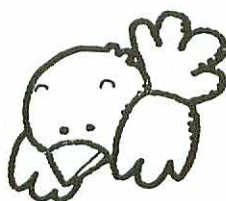
仲間・はなし



くになり、隣家の車庫と物置きは
すずめのマンションになってしま
った。

春の産卵から子育てが終るまで
は餌箱との往復が激しく、餌がな
くなると、徒党を組んで囀ずり請
求をしてくる。

夏と秋は餌箱に寄ることは、ほ
とんどないが冬が近くなると親戚



縁者、ガールフレンドにボーイフ
レンド、おまけに幼稚園の友達ま
で連れてくる。休日などに退屈ま
ぎれに残飯にりんごの皮としんの
みじん切りなどと、古いパンをま
ぶして置いてやると、数分もしな
いうちに集まり喧嘩をしながらた
べている。序列があるようで、餌
箱に止まらない鳥は近くの本で待
機しており、一族の食事が済む
と飛び立ち、すぐ次の数羽が降り
てくる。その繰り返しである。

平日であれば朝食しかあたらな
いが、閉居人がいる時は、十一時
と二時にも食にありつける。満腹
になり、無風で日当たりが良けれ
ば、すずめ達は居眠りをしている。
すずめを見ている閉居人も平穩無
事であるが、すずめ達も平安な一
日であらう。

あかげらとひよどりの夫婦が来
るようになってから、食事の優先
権は、すずめから移ったようだ。

この夫婦は脂身や果物が好物なよ
うであり、秋には梨をつつついて
落しては食べていた。一本の本に
三十個以上も実るので、霜に何回
かあててから乾燥保存し、冬期間
に与えている。

夫婦で飛来しても、一緒に餌箱
に首を入れることはなく、どちら
か一羽が見張りをし、交替で食を
する。閉居人を警戒しているので
はなく、猫、からすに用心してい
るのだろう。この鳥夫婦も餌の催
促は激しく、けたたましく鳴くの
である。特に翌日の天気予報が暴
風雪を報道している日はたやすく
帰ることがない。鳥類も動物もそ

の点は敏感なのであらう。

やむをえず閉居人も冷蔵庫を開け
て、ハムの脂身やパンを食べやす
い程度に切つて外に出ると、鳥は
白樺の高いところに移り、閉居人
を観察している。

すずめは家族も増え、親鳥がえ
さを仔鳥のくちばしの中に入れる
光景をよく見るが、あかげらや、
ひよどりの子連れの場面は見るこ
とが出来ない。自然界は、あかげ
らや、ひよどりのふ化や育生に厳
しい条件が多くなつてきているの
だろう。

閉居人は鳥達につぶやく、

「近年になってからの異状気象は
人間生活の変化のせいなんだよね
え。こんなに急激に自然を変化さ
せなくても人類は生きていけるん
だけど、かなりわがままにふるま
ってきたなあ。ゴメンネ。デモ、
キミタチワ、コノヒマイジント、
シバラクツキアツテヨ、キミタチ
ヲ、ケツシテウラギリナイカラ。
三シヨクホシヨウ、マンシヨント
キダモ、ネツ。」「チツ、チツ、チ
ューン。」



手作りは楽しい
私の趣味①
 開陽房川 秀子さん(56才)
 よろこんでもらえればもつとうれしい

じやがいもや、澱粉を使った料理はもちろん、お菓子作りが大好きで、いつも楽しくやっていると
 いう房川秀子さん。

今回の取材では、水飴、おこし、サターアンダーギー等、手作りお菓子を作って、紹介してくれました。

伺った時、玄関に入ってまず驚いたのは、十八リットルの缶四つに手作り洗剤が入っていたこと。この洗剤、最近では、親戚にも「何んにも使えて良く落ちる」と大変好評だそうです。

昨年冬まつりの準備の際には、いもだんごの作り方の指導をした房川さん、じやがいもと澱粉を使ったお菓子や料理は、得意中の得意。好評ですから、所属している野菜生産組合の朝市にも出してみようかと思案中です。

「いもだんごは、地元
 の親戚は元より、本州迄、いつも送っているの、あんこの入っているものとそうでないものをそれぞれ作って送っているけれ



やさなお皿にのばしたアメをポンポン割って

ど、大そうよろこばれてネ。また、送ってほしいと言われるの。」

「それだけ好評だと、澱粉もかなり使われるでしょうね。」

「どのくらい使うのかは考えた事もないけど、昨年十二月に二十五キロ一袋のものを四袋買ったんだけど、使ってしまった、また最近二袋買ったんです。」との事で、かなり消費拡大に貢献していらつしやいます。

昨年七月に「くいしん坊ノ万歳」の村野武憲さんが取材、テレビで放映された事で、東京からいもだんごの作り方について、視聴者から問い合わせがあったそうです。

「くいしん坊ノ万歳で視たのをいま作っているのだが良くわからないので教えてほしい」というので、作り方を説明したんだだけ

ど、それから連絡がないけど上手くできたかしらネ。他にも何件かそんな問い合わせがあったわヨ。」

他にも羊かんやまんじゅう、そば等も打つそうです。羊かんは、かぼちゃで作るととても美味しいとか。「今日は、これを食べたい、あれを作りたいと思ったら、夜遅くなっても、かならず作ってしま

う。全然おつくうじゃないね。」
 本当は甘い物より、くだもの方が好きという房川さんは、「最近、自分で作る事におつくうがる人が多いようネ、作れば、皆んなよろこんで食べるのに、少し淋しい気がするネ。」作る時間がない？時間も、料理やお菓子も作るもの、皆さんも挑戦してみてはいかがですか。

房川秀子様
 1988. 7. 29.
 くいしん坊ノ万歳

さらに進めたい経営改善

“技術の向上によりコストの低減を!!”

昭和六十三年は、乳価の値下げ、天候不順の中での牧草生産、更に前半低迷していた牛乳生産が、後半急激な伸びを示した事など、変化に富んだ一年でした。

また、乳質、乳成分の向上、高栄養粗飼料の確保、及びコストダウンによる経営改善など、今後の課題も山積みしています。

※更に進む経営の格差

六十三年の経営収支の状況をみると前年より好転した農家と更に悪化した農家の格差がますます広がっている状況にあり、この傾向は六十二年も同様で、農家間の格差がますます開いてきている現われであります。

また牛乳生産の状況を見ても、乳脂率、無脂乳固形分率とも、最高と最低の差は前年よりも大きくなっており、飼養管理技術の格差

が更に開いてきている事が考えられます。

※今一度、経営の見直しを!!

牛乳生産における乳量、乳成分の把握は各自が行なっている事と思いますが、その生産に要した費用の把握はなかなか行なわれていない現状にあります。

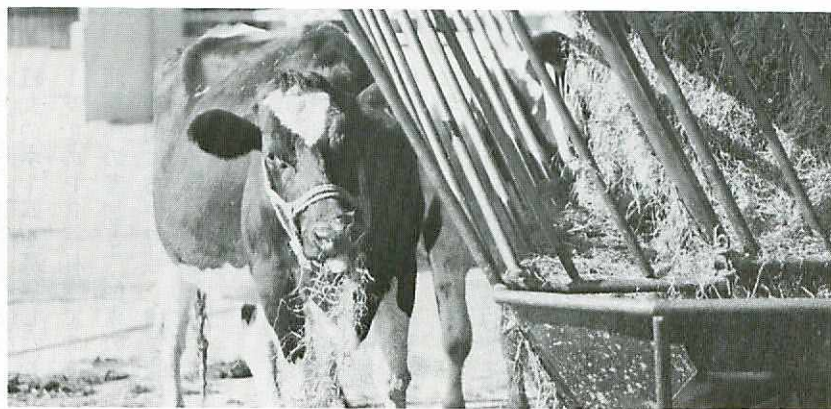
酪農経営は他の経営形態と違って、部門構成が多く、それだけ発生する問題点、課題も多く難しさも増加します。

しかし、土―草―牛と関連のある生産行程の中で、それぞれが独立した経営技術ではなくお互いに関りをもった技術として存在しています。

従って経営改善の取組みとして断片的な技術の改善ではなく、自分の置かれている技術レベル、経営水準を十分認識した中で、総合

的な経営改善が必要となってきました。

※コスト低減の手段



を減らすか生産量を増やすことによってその数値は下がってきます。搾乳技術、衛生管理を十分行なう牛の健康管理を維持すること、飼料給与技術を改善して疾病、繁殖成績を向上させること、草地の実態に合った施肥を行なうこと等等、一つひとつの技術の改善が経費を減らすことに結びついてきます。

コスト低減のために経費を減らすことだけを考えて、それ以上に生産量を減少させたのではコスト低減にはなりません。

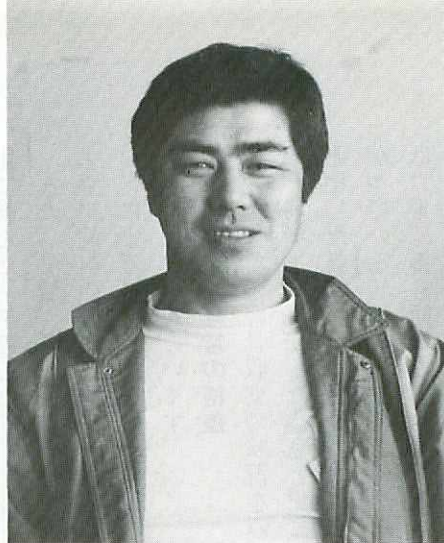
例えば、施肥量（経費）を減らしてそれ以上に収量を低下させること、また乳牛の飼料給与量（経費）を減らしてそれ以上に牛乳生産量を減少させることなどは絶対に避けなければならぬ事です。

これからは、内外の農業事情により更に農業生産に制約が加えられる事も考えられることから、この機会に生産技術を向上させ、生産効率を高めてコストの低減を進めていく必要があります。

生産コストとは、物を生産する行為において生産量と生産費用の関係を示す数値であり、生産費用

「俺達がやらずにだれがやる」

踊り子を捜して—伊豆の旅—



青年部畑作部会
部長 西崎

敬造 さん

3

この人あの人



国民宿舎松崎荘にて

中標津町商工会青年部からの誘いを受け、我が青年部から小林茂さんと私、西崎が商工会青年部員五名と共に、日本でも代表的な観光地、伊豆半島の施設視察に行ってきた。

湯ヶ原で開業医をされている、

馬鈴薯澱粉市況が低迷な現在、生き残るために、食用馬鈴薯を売り出したいと考えて、紅丸のネームを募集したり、TVでのPR、札幌での道物産展への参加と、仕事の忙しい時期にあっても、精力的に行動し、若い人達を引っぱっている西崎さん。

現在は、ただ単に馬鈴薯の販売だけを考えるだけではなく、自分達の住むこの中標津町の町づくりに関しても真剣に考えているようです。

「北海道物産展に行つて、中標津町の知名度が低かったのがショックでした。伯爵

や紅爵を売るにしても、中標津町の紹介から始めたりネ。その上、いもは、真狩、ニセコなんか知名度が高いし始めは全然売れず、こりやダメかなと思つたヨ。ただ真剣に説明すると、良く聞き入ってくれたし、物はためし、と持つていった紅爵が伯爵より人気があつたのには、こちらが面くらつちやつた。」

今年の手始めとして、商工会青年部と西中の小林茂さん共々、伊豆伊東市へ町づくり事例の研修に行つてこられたので、その報告を紹介します。

渡辺先生（七十六歳）にわざわざ羽田空港に出迎えに来ていただき、多大なお世話をおかけして、本当にありがたき思います。この事はまた、別の機会にお話し出来る事があると思います。

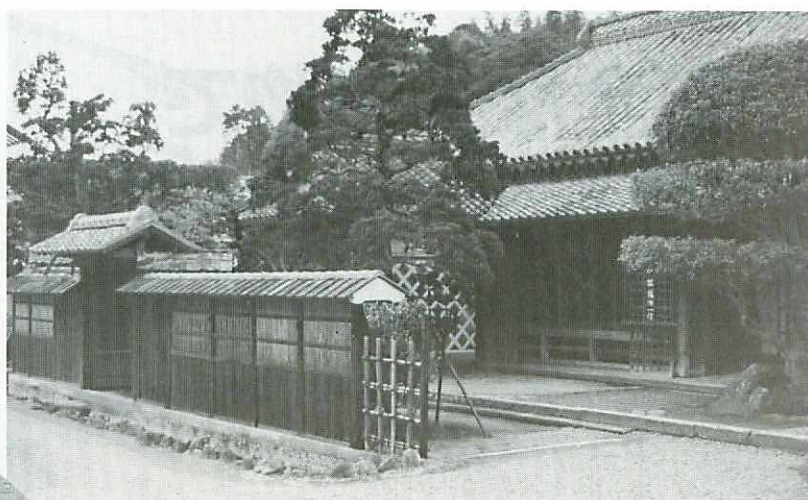
今回の旅行の最大のテーマは、「街の活性化」であり、伊東市の市役所の武井、鈴木両氏の案内で、

伊東市城ヶ崎の観光施設を見て回りました。その中の話では、この辺は観光産業が主で農水産業は、ほんのひと握りにすぎず、それも何んらかの形で観光に関わっているとの事でした。

代表的な観光地とあつて、色々な歌、ドラマ、小説の舞台となつた伊豆は、それだけでも有名で、

私達が行った一月十五・十六日も連休とあってか、どこへ行っても人が一杯で、城ヶ崎の吊橋などは人で橋が落ちそうな程でした。

自然の良さはそのままに、という基本方針から観光施設の立場が重要になってきます。中でも公衆トイレについては、良く整備され、

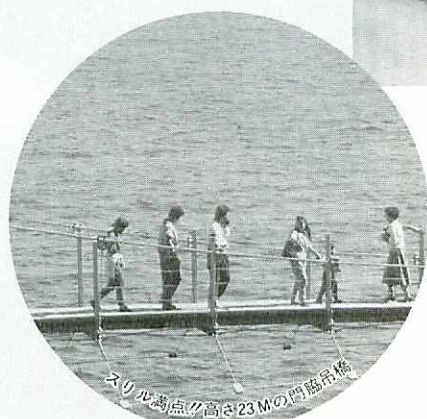


エッ！これがホテル？一年前から予約が必要の大沢温泉ホテル

駐車場の片隅に追いやられそうなトイレが観光の一部を担っているのに非常に驚きました。

伊東、城ヶ崎を後に、天城山を左に見て伊豆の踊り子ラインを横切って松崎町に入りました。松崎は、「花とロマンの町」をキャッチフレーズに、イメージの町づくりに努めていました。漆喰芸術の長八美術館は、星をイメージに立てられ、ヨーロッパ的な滞在形の観光を目指しているそうです。

東京など大都市から来



星をイメージした払スイセン'86

のだという言葉が心に残りました。

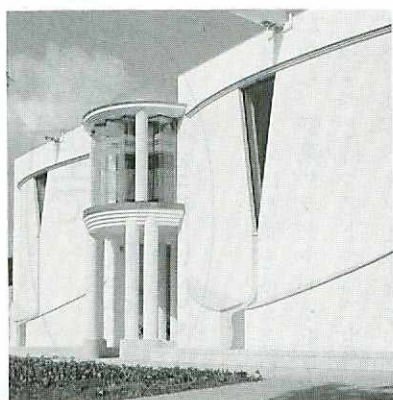
二日間、伊豆を案内していただき、また、夜の更けるのを忘れて語り明かした伊東の二人に心よりお礼を申し上げます。

古い街並、村々、それを包む山々が、なぜか心安らぐ風景をかもし出して、その土地に住む人達の暖かさを心に残しながら私達の踊り子を探す伊豆の旅は終わりました。

漆喰芸術の長八美術館

るには、天城連山を越えなければならず、どうしても西伊豆の方には、人が少ない、それゆえに滞在型の観光を目指しているとの説明がありました。

国民宿舎、松崎荘で二日目の宿を取り、夜の更けるのを忘れて、町づくりと観光について語り合いました。その中で観光とは何んだという命題に、そこに住んでいる人が楽しくなければならぬ。観光は、そこに住んでいる人達のも



安全な生産物で 健康な町づくり

安全食品を考える会 世話人 松岡 喜代之助

魚粕だけで

野菜が出来た

毎年のことながら、春を待ちかねて、うちのかあちゃん野菜づくりに魚粕だけで、蒔いてしまった。

化学肥料も混じった肥料と違い込んで蒔いてしまったのだが、気がついた時は、秋の収穫時期であった。品目十種類、大根・馬鈴薯・人参・花豆・キャベツ・ホーレン草・春菊・カボチャ・ネギ・ヤグラネギ、出来ばえは何時もと変わらないだけに、本人は化学肥料も入っているものと思って手入れしてきた。

農薬を使わない野菜作りを、農

文協の月刊紙で読んだところが虫よけに、黒砂糖、酢、タバコのすいがらを使ったところが、無農薬野菜が出来たそう。

知らない事とは言いながら、魚粕だけで野菜が出来たことには、私もびっくりした。テレビで化学肥料のやりすぎが、作物の育ちを悪くしている事を知ったが、我が家の野菜畑も、化学肥料がある程度残っていたのではないかと思われるが、確かなことは解らない。

草地にも魚粕だけで

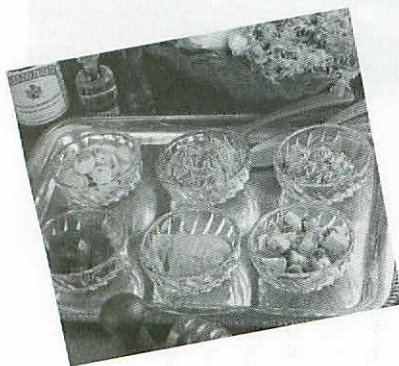
化学肥料を使わずに

私は、三年程前から草地に魚粕を蒔いたら良いと言う事は、聞いていたので、息子に

野菜の方へ
食のひとこま
生で
食べれば
本当にいい？

健康のために野菜を多くとる。だから、野菜サラダをモリモリ!! ちよつと待って下さい。生のキャベツは、ペンツビレンという発ガン物質が含まれ、このまま千切りで食べるのは良くありません。ところが火を通すと、話しは違

って来ます。元々胃の粘膜を保護する成分があるため、キャベツ類を煮たり、炒めたりして食べると胃ガンの促進が防げられるとか。野菜炒め、ロールキャベツ等、「火を通す」と体によくて、おいしい料理もたくさんあります。



は、そんな良いものならと試験的に使って見る事になったのは良いが、夏場の放牧地五町歩に化学肥料を一切使わず魚粕だけ蒔いてしまったのは、私もびっくりした。

牛舎に一番近い草地だけに、牧草ののびが悪かったら乳の出が悪くなるのではと心配したが、他の草地と変わりなく伸びてくるのです。

ところが、今迄喰い残しも随分あった所も秋ぐちには、きれいに食べてしまった。

野菜畑にしろ、牧草地にしろ、長い間、化学肥料だけでやってきた所には、魚粕を使う事は良い事だが、今後は土壌を調べた上で使う事で、余分な心配がなくなると思う。

健康な町づくりは主婦の手で

消費者協会加入について

農畜産物の自由化反対運動と合わせて、農業団体も消費者にたいする感心を示すようになって来た。中標津の場合、

今までは生産した物が農協を通じて、全量販売出来ましたが、これからは、そうもいかない時期がきます。

輸入される量が多くなるにしたがい、安全な生産物を求める消費者も多くなつて来ます。消費者運動の進んだところでは、食糧に付いては、ただ安いだけのものではない害の無い、食べ物を求める声が多くなつて来ます。

みんなの健康を考える農家や農協に安全な生産物を供給してほしいと、要請して来るようになりま

す。私達農家も輸入されてる生産物が、危険だから反対するというだけでなく、よりよい安全な作物づくりに努める必要があります。

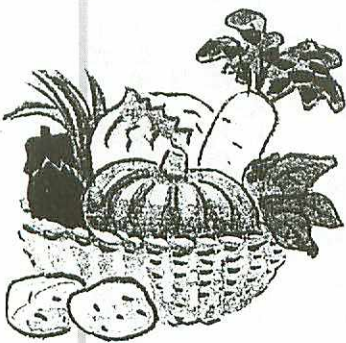
私は、昨年の二月頃より、輸入されている農畜産物の危険性に伴い、加工段階での添加物も多くなり、病人が増えてる事を知りました。これからは、身近な消費者と相談して、安全な食糧を生産から加工まで考える事が大切と思い、中標津にも、食べ物を主体として、お互いに話し合いが出来る組織を

作るよう、町の代表者の協力をお願いして来ました。

これからの中標津は、牛乳と馬鈴薯のみならず、この地にあった色々な農産物を生産し、販売を考えていかなければ生き残りはむずかしくなります。

作る人も、食べてくれる人も、お互いに話し合い、安全な食べ物で結びつきを持つ事が大切と考え、町の主婦と農家の主婦が、協力出来る消費者協会設立を私案しました。

消費者協会設立については、新聞でご承知と思いますが、役場町民課が窓口となり、会員の申し込みを受け付けていますので、是非入会されて、町の婦人と語り合う事をお願いします。



北海道地方 長期予報

日本気象協会

雪が少ないと、らくですが今後の天気も気になるところです。

〈気象概況〉

この期間、二月後半から三月前半にかけて寒い月が多く、この頃一時大雪の恐れがあるでしょう。

〈月別予報〉

二月・前半は寒さの緩む日が多い見込みです。しかし、後半は季節風が一時強まり、寒さの厳しい日があるでしょう。日本海側では一時大雪の恐れがあります。平均気温、降雪量とも平年並の見込みです。

三月・時々季節風が強くなり、寒い日が多い見込みです。しかし、下旬には、天気は周期的に変わるのでしょう。平均気温はやや低く、降水量は平年並の見込みです。

四月・移動性高気圧や低気圧が交互に通る、天気は周期的変わるのでしょう。平均気温はやや高く、降水量は平年並の見込みです。

昭和63年度(4~12月) 生乳受託実績

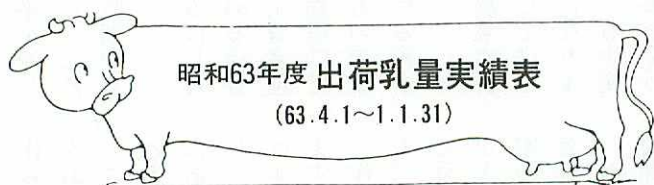
農協名	12月		(4~12月)累計	
	乳量	前年比	乳量	前年比
標津町	3,986,070.0	106.9%	40,332,050.0	101.7%
中標津町	5,332,498.0	108.6%	51,627,560.0	102.7%
計根別	4,841,879.0	112.1%	46,147,615.0	103.3%
西春別	5,530,347.0	109.8%	55,297,386.0	103.6%
上春別	2,932,075.0	102.3%	29,133,626.0	100.0%
別海	8,987,166.0	107.8%	87,096,287.0	101.4%
中春別	5,994,370.0	108.8%	58,870,650.0	101.5%
根室	3,227,725.0	110.7%	31,920,207.0	101.9%
羅臼町	181,180.0	108.6%	2,006,280.0	102.5%
合計	41,013,310.0	108.5%	402,431,661.0	102.1%

平成元年度 第12回 定期総会開催される

中標津町農協でん菜生産振興会

平成元年度、中標津町農協でん菜生産振興会第十二回定期総会が、一月二〇日、生産者二十七名(本人出席二十四名)が出席して農協大会議室で開催されました。阿部会長の挨拶のあと農協児玉組合長、ホクレン原料所岡山所長の祝辞をいただき、東武佐の安達勉氏を議長に選出し提出議案の審議が行なわれました。

議案第一号、昭和六十三年事業及び収支報告、議案第二号、平成元年度事業及び収支計画(案)が原案どおり承認され閉会致しました。



昭和63年度 出荷乳量実績表 (63.4.1~1.1.31)

区分 月	出 荷 乳 量		前年比 (%)
	62年	63年	
4月	5,028,668.9	5,027,560.0	100.0
5月	5,682,462.1	5,651,550.0	99.5
6月	6,128,775.9	6,100,320.0	99.5
7月	6,085,221.1	6,304,710.0	103.6
8月	6,048,715.7	6,244,785.0	103.2
9月	5,739,070.2	5,892,070.0	102.7
10月	5,666,153.4	5,851,565.0	103.3
11月	4,962,129.6	5,222,502.0	105.2
12月	4,910,363.6	5,332,498.0	108.6
1月 上旬	1,555,118.4	1,718,891.0	110.5
中旬	1,529,302.9	1,698,832.0	111.1
下旬	1,651,693.8	1,867,212.0	113.0
月計	4,736,115.1	5,284,935.0	111.6
累計	54,987,675.6	56,912,495.0	103.5

平成元年度 第12回 定期総会盛会の内に終える 馬鈴しよ振興対策協議会

平成元年度、中標津町農協馬鈴しよ振興対策協議会第十二回総会が、一月二十五日、農協大会議室を会場に、耕作者四十四名(本人出席三十八名)の出席で開催されました。

上原会長の挨拶のあと農協山本副組合長の祝辞をいただき、議長に中標津第二の佐藤清氏を選出し、提出議案の審議が行なわれました。

議案第一号、昭和六十三年度の

事業及び収支報告、議案第二号、平成元年度の事業及び収支計画(案)が原案どおり承認されました。

引き続き行なわれた役員改選では慎重な討議の結果現五役が再選されました。

会長 上原徳保氏
副会長 武田 勇氏
安達 勉氏
大内利市氏
真嶋正義氏



ホクレンがまとめた十二月分、受託乳量は二
十一万五千二十三トン、十一月分の二十万五千
八百三十七トンをやや上回った。前年同月では
七・三割増で十一月分の同五・五割を上回る伸
び。十二月までの累計は、二百二十七千九百四
十三トン。累計では十一月分までの前年同期比
二・三割増から、同二・八割増となった。地域
別の十二月分受託乳量は北見が前年同月比九・
九割増と前月に引続き高い伸び。

次いで旭川が同九・八割増、岩見沢、留萌が
同八・八割増、中標津が同八・五割増、苫小牧
が同七・六割増、釧路が同六・六割増、函館が
同六・五割増、帯広が同五・六割増、札幌が同
五・五割増、倶知安が同四・八割増、稚内が同四・
四割増としり上りに伸びている。中標津町農協
の十二月までの累計は、五万三千三百二十五ト、
前年同期比一〇八・六割と好調な伸びであるが、
乳質の向上にも一層の努力が必要である。

昭和63年度 全道支所別受託乳量実績

単位kg、%

支 所	12月受託乳量	前 年 比	4～12月受託乳量	前 年 比	構 成 率
函 館	7,373,076.3	106.5	68,716,226.1	101.8	3.4
倶 知 安	2,655,685.0	104.8	25,658,232.0	100.1	1.3
苫 小 牧	8,053,013.0	107.6	73,452,147.0	104.2	3.6
札 幌	2,017,819.0	105.5	18,358,519.0	100.3	0.9
岩 見 沢	2,596,512.0	108.8	23,486,472.8	103.3	1.2
留 萌	7,886,426.0	108.8	80,837,270.0	103.6	4.0
旭 川	11,197,899.0	109.8	103,897,719.0	104.9	5.1
稚 内	17,163,241.0	104.8	173,915,012.0	101.1	8.6
帯 広	51,372,776.4	105.6	459,187,292.7	102.6	22.6
北 見	33,890,152.0	109.9	312,972,449.0	103.7	15.4
釧 路	29,803,593.6	106.6	285,030,050.7	103.7	14.1
中 標 津	41,013,310.0	108.5	402,431,661.0	102.1	19.8
合 計	215,023,503.3	107.3	2,027,943,051.3	102.8	100.0



理事会

の経過

第十回理事会

開催月日 十二月二十八日

開催場所 農協中会議室

議案

一、役員欠員に伴う補欠選挙について。

第四十二回通常総会（平成元年五月）に補欠選挙を行う。

二、部門専門委員の補充について
各理事は二部門に所属し、従来より委員数を増やす。

三、昭和六十四年度営農計画樹立に当っての基本方針について。

四、昭和六十四年度営農計画作成資料について。

五、昭和六十三年営草地開発整備事業に係る借入れについて。

六、昭和六十三年度公社営畜産基地建設事業に係るバルククーラーの導入について。

七、昭和六十三年制度資金追加

申込みについて。

八、出資金の減口について。

以上、原案どおり決まりました。

協議事項

一、昭和六十三年度クミカン中間協議後の状況について。

二、昭和六十四年度てん菜作付面積並びに個人別配分方法について。

三、馬鈴しよ加工施設の検討について。

報告事項

一、昭和六十二年度共計澱粉過払い戻金について。

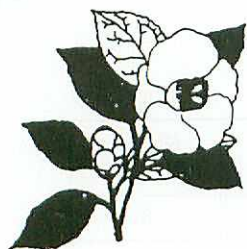
二、昭和六十三年度てん菜生産実績について。

三、生乳受託実績について。

四、生乳の安定生産対策案について。

五、昭和六十三年度中標津町農協生乳細菌、細胞数について。

六、昭和六十三年度月別地域別、人工授精頭数について。



平成元年 根室生産連家畜市場価格

(1月分)

種 別		区 分	上場数	成立数	売 買 金 額	平 均	最 高	最 低
乳	育成(12ヶ月以下)		0	0	0	0	0	0
	育成(12ヶ月以上)		1	1	354	354	354	354
	初 妊 牛		3	2	1,120	560	570	550
	経 産 牛		5	5	1,731	346	470	250
	小 計		9	8	3,205	401	0	0
肉	初 生 ト ク		1	1	24	24	24	24
	牡 ト ク		0	0	0	0	0	0
	去勢(12ヶ月以下)		0	0	0	0	0	0
	去勢肥育(12ヶ月以上)		0	0	0	0	0	0
	育 成 牛		5	5	1,528	306	370	235
牛	未經産肥育牛		0	0	0	0	0	0
	成 牛		34	34	9,334	275	404	189
	小 計		40	40	10,886	272	0	0
	その他(馬・羊他)			0	0	0	0	0
	生産連市場計			49	48	14,091	294	570

「売り易く買い易い」をモットーに、毎回多数の家畜が出場しています。

◎場 所 中標津町南中
◎定期市場 毎週水曜日
◎セリ開始 午前十時

新しい年を迎えて気持ちも新たに、各自が目標を持って色々なことに取組んでいることとされています。

家計簿記帳もその一つではないでしょうか。

〈家計簿の目的は〉

私たちは、さまざまな夢や希望を持ってくらしています、心に描いているだけでは、なかなか希望を現実のものにするのが困難です。もしなければならぬか、より身近に実現するための手段として家計簿記帳をするのです。

複雑なお金の流れや契約の仕組、カード一枚で物やお金があるから左へ動く時代になり、お金や物の価値観が失われがちになるなど頭の中で整理しきれなくなり、上手な家計管理が出来なくなりがちです。

〈家計簿は魔法の鏡で〉

「家計簿は生活の姿を写しだす鏡」だと言われています。しかし、この鏡も何もせずに写しだす魔法の鏡ではありません。お金、または組勘が、どの費用

に、どれだけ使われているか、その行方をしっかり印し、月と一年のまとめを行ない、分析をしなくてはなりません。

また、家計簿記帳イコール節約だと思われがちですが、決してそうではありません。我家の暮らしぶりを知り、いかに生活を工夫し

夢をふくらませるために 家計簿記帳を!!

北根室地区農業改良普及所



暮らしのムリ、ムタ、ムラを改善し合理的な支出をするかということなのです。

〈記帳のコツ〉

- ①家計簿を何のために記帳するのかははっきり認識する。
- ②目的にあった家計簿を選び、記帳の仕方を理解する。
- ③全費目の記帳が無理であるなら

自分で知りたい費目から記帳し始める。

④いくつも財産があり記帳が難しい場合は、自分が扱っているものから始める。

⑤記帳もれを防ぐためにレシートは必ずもらい、お金の出入りをその日のうちに整理する。

⑥現金残高と家計簿残高が多少合わない時は、「つけ落し」「不明金」等と処理し、気にせずに継続する。

⑦毎月の集計、一年の集計を行ない反省や計画の資料にする。

⑧記帳する場所や時間を設定し習慣づける。

⑨毎月集計日を設ける。

⑩特に農繁期は、領収証やレシートの整理がおろそかになりがちなので、空箱などを利用した収納ケースを作り入れておくこと。

〈記帳のメリット〉

- ①数字に強くなる。
- ②我家の価値観にあわせて、合理的なお金の使い方ができる。
- ③いざという時の準備ができ、ゆとりある生活ができる。
- ④商品知識が豊かになり、買物上



※マメに記帳する、それがカギ

- ⑤過払い、二重払いのチェックができる。
 - ⑥税金対策の資料になる。(医療費控除など)
 - ⑦子どもの金銭教育になる。
 - ⑧家族のコミュニケーションがはかれる。
 - ⑨社会への関心が培われる。
 - ⑩記帳が積み重なると、生きた我家の歴史的資料となる。
- 明日からといわず今日から始めましょう。家計簿記帳を。

昭和63年12月分乳成分・乳代単価ベスト10^{テン}

順位	脂 肪 率 %	無脂固形分 %	乳代単価 円	体細胞数 千
1	本 多 萌 4.43	久 我 敏 也 9.03	筒 井 良 秋 85.67	下川原 政 市 60
2	筒 井 良 秋 4.34	下川原 政 市 9.03	本 多 萌 85.63	齊 藤 一 美 63
3	大 西 一 郎 4.31	佐々木 邦 夫 8.98	竹 下 日 吉 84.89	飯 島 清 市 74
4	竹 下 日 吉 4.29	佐 藤 一 広 8.91	青 木 フサ子 84.59	桜 井 寿 夫 78
5	大 木 敏 夫 4.28	清 原 賢 一 8.91	大 西 一 郎 84.51	筒 井 富 男 81
6	青 木 フサ子 4.26	白 田 慶 和 8.90	佐々木 邦 夫 84.33	篠 永 栄 90
7	中 村 敏 夫 4.24	松 本 正 通 8.89	下川原 政 市 84.10	日 下 芳 昭 90
8	西 井 武 4.20	筒 井 良 秋 8.88	上 村 重 光 84.03	今 井 靖 清 97
9	金 子 安 一 4.19	連 田 弘 8.88	久 我 敏 也 84.00	広 瀬 清 寿 99
10	上 村 重 光 4.19	花 川 稔 8.88	中 村 敏 夫 83.99	大 木 敏 夫 103
	上ヶ島 利 春 4.19	佐 藤 拓 8.88		
平均	3.90	8.65	80.41	329
最低	3.49	8.15	74.66	1,379

4%以上71戸

昭和63年乳質・乳成分年間ベスト10^{テン}

昭和63年1月～12月

順位	体細胞数				脂 肪 率			無 脂 固 形 率			乳 代 単 価		
	地区	氏 名	年 間 平均数		地区	氏 名	年平均 %	地区	氏 名	年平均 %	地区	氏 名	年平均 円
1	当 幌	飯島 清市	65 ^千		俣 落	大木 敏夫	4.16	俣 橋	下川原政市	8.94	俣 落	大木 敏夫	83.91
2	当 幌	筒井 富男	66		当 幌	吉田 正行	4.04	中標津	久我 敏也	8.89	当 幌	吉田 正行	83.06
3	当 幌	筒井 良秋	71		中標津	下山 幸一	3.98	中標津	佐藤 拓	8.86	武 佐	佐藤 一広	82.80
4	開 陽	齊藤 一美	78		俣 落	小谷 盛一	3.98	武 佐	佐藤 一広	8.86	中標津	下山 幸一	82.38
5	俣 橋	下川原政市	100		俣 橋	西山 宏	3.97	中標津	花川 稔	8.85	俣 落	久保 栄興	82.35
6	武 佐	篠永 栄	100		武 佐	佐藤 一広	3.95	開 陽	笠井 剛	8.82	第2俣	武田 三郎	82.33
7	中標津	三森 章司	102		当 幌	筒井 良秋	3.94	中標津	滝場 慎二	8.81	中標津	久我 敏也	82.28
8	俣 落	小林 金司	102		俣 落	久保 栄興	3.94	武 佐	白田 慶和	8.80	俣 橋	西山 宏	82.24
9	第2俣	来栖 寛	108		第2俣	武田 三郎	3.94	俣 落	松本 正通	8.77	俣 橋	下川原政市	82.21
10	俣 橋	日下 芳昭	109		俣 橋	水本 正二	3.93	第2俣	弾正原 正	8.77	俣 橋	水本 正二	81.91

昭和63年度 地区別合乳細菌数・細胞数検査成績(63年1～12月)

昭和63年1～12月合乳細菌数、細胞数検査結果は下記の通りです。乳質向上に努力を!!

地区	細菌数						細胞数			
	30万以下	31～50	51～100	101～200	201～400	400万以上	30万以下	31～50	51～100	110万以上
当 幌	(97.7%) 888	(0.3%) 3	(0.8%) 7	(0.2%) 2			(61.8%) 556	(28.4%) 256	(9.7%) 87	(0.1%) 1
俣 落	(98.7%) 1,541	(0.3%) 5	(0.5%) 8	(0.4%) 6	(0.1%) 1		(50.7%) 792	(32.5%) 507	(16.4%) 256	(0.4%) 6
中 標 津	(98.4%) 1,524	(0.9%) 14	(0.3%) 4	(0.3%) 5		(0.1%) 1	(55.9%) 865	(26.5%) 410	(16.2%) 251	(1.4%) 22
開 陽	(98.9%) 1,067	(0.2%) 2	(0.6%) 7	(0.1%) 1	(0.1%) 1	(0.1%) 1	(53.6%) 578	(29.7%) 321	(14.7%) 159	(1.9%) 21
俵 橋	(98.9%) 1,584	(0.4%) 7	(0.2%) 4	(0.2%) 4	(0.1%) 2		(64.4%) 1,031	(22.3%) 357	(11.9%) 190	(1.4%) 23
武 佐	(97.8%) 1,665	(0.5%) 8	(0.8%) 14	(0.6%) 11	(0.2%) 4		(49.3%) 839	(33.3%) 567	(16.1%) 274	(1.3%) 22
第2俣落	(98.8%) 1,671	(0.3%) 5	(0.3%) 5	(0.4%) 6	(0.2%) 3	(0.1%) 1	(53.3%) 901	(29.4%) 497	(15.8%) 268	(1.5%) 25
合 計	(98.6%) 9,940	(0.4%) 44	(0.5%) 49	(0.3%) 35	(0.1%) 11	(0.0%) 3	(55.2%) 5,562	(28.9%) 2,915	(14.7%) 1,485	(1.2%) 120

平成元年 地区別合乳細菌数・細胞数検査成績

平成元年1月合乳細菌数、細胞数検査結果は下記の通りです。乳質向上に努力を!!

平成元年1月

地区	細菌数						細胞数			
	30万以下	31～50	51～100	101～200	201～400	400万以上	30万以下	31～50	51～100	110万以上
当 幌	(100.0%) 75						(65.3%) 49	(26.7%) 20	(8.0%) 6	
俣 落	(97.6%) 123	(2.4%) 3					(50.0%) 63	(34.9%) 44	(15.1%) 19	
中 標 津	(98.4%) 127	(0.8%) 1		(0.8%) 1			(56.6%) 73	(27.1%) 35	(16.3%) 21	
開 陽	(98.9%) 86		(1.1%) 1				(65.5%) 57	(26.4%) 23	(5.7%) 5	(2.3%) 2
俵 橋	(100.0%) 129						(68.2%) 88	(19.4%) 25	(10.1%) 13	(2.3%) 3
武 佐	(97.8%) 136	2	1				(53.2%) 74	(30.2%) 42	(15.1%) 21	(1.4%) 2
第2俣落	(100.0%) 141						(54.6%) 77	(32.6%) 46	(12.8%) 18	
合 計	(98.9%) 817	(0.7%) 6	(0.2%) 2	(0.1%) 1			(58.2%) 481	(28.5%) 235	(12.5%) 103	(0.8%) 7

今月の フット



講演の玉井さん



もっと大きな口を開けてノガブツと

歌やゲームにハッスル!!

今年で五回をむかえる婦人部新年恒例会が、去る一月二十五日、寿宴において行なわれました。

今年には芸能発表、ゲ



椅子と踊るゲームの

1月25日

婦人部新年会 開催される

上がりました。講師の玉井氏、来賓として出席して下さいました長瀬青年部長をはじめ、参加した十三名の部員達もこの一日は大ハッスル。この新年恒例会により、さらに部員相互の新睦が深まったことと思います。

ームに、「原野でのくらしの中で」と題し、中春別で酪農を営みながら執筆活動をしている玉井氏の講演を加え、内容も新たに実施致しました。恒例となった芸能発表ですが、今年は昨年に増し磨きがかかり皆プロ並みで、観客は見とれ、聞きほれるばかり。ゲームも時間を延長してしまふほど盛り



見る方も楽しめました。



平然と飲んでいますがだれかが焼酎を...



「ウーン」味も、舌ざわりも

なかなか微妙



アイルズ

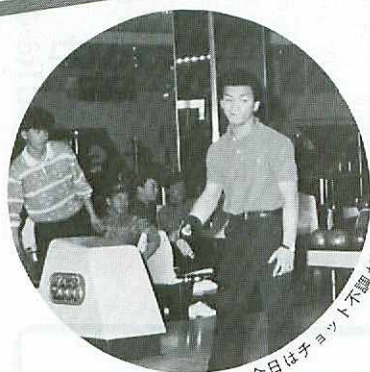


北根室地区農業改良普及所主催の馬鈴しょ試食会が、一月十三日、合同庁舎会議室に関係機関等を集め開催しました。

今後少しずつでも生食向けに売り出す意向で、品種による味、舌ざわり、色、粘りなどの評価材料とするため、行なわれたもので、塩煮にして、農林一号を基準に、伯爵、メークイン、トヨシロ、ホツカイ、コガネ、紅爵の六品種を出席者は真剣に食べ比べていました。

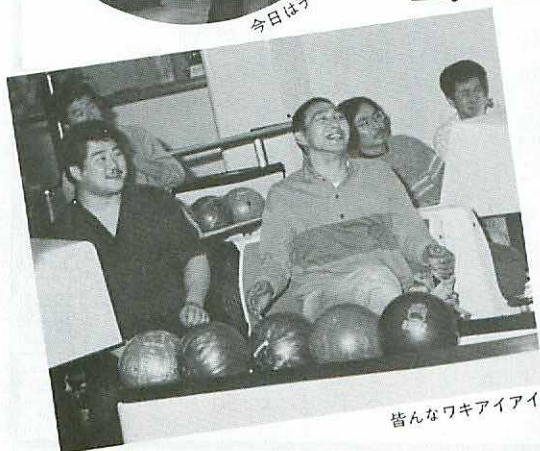
1月26日

農協青年部
終始なごやかに
ボーリング大会



今日はチャット不調七ナ

農協青年部では、一七名を数える部員相互の新睦をはかるため、ボーリング大会を実施しました。
部員の約半数以上が参加した、この大会、上手な人もそうでない人も、終始なごやかにゲームを楽しんだようです。



皆んなワキアイアイ



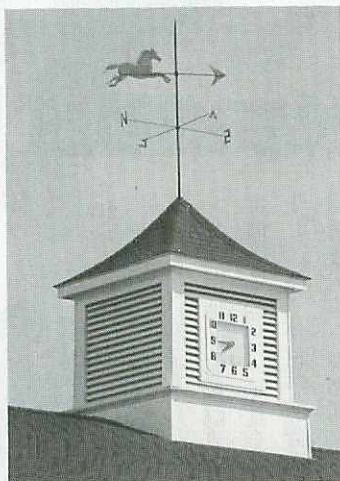
エーブービー賞は…長瀬さんです。

1月の 組合日誌

- 4日 関係部門業務開始
- 7日 一般業務開始
- 17日 税対策委員会
- 19日 実習生受入協議会総会
- 20日 甜菜生産振興会総会
- 21日 肉牛組合総会
- 23日～2/10日
営農計画書作成
- 25日 馬鈴薯振興会総会
- 28日 役員協議会
- 30日 第3回管理購買委員会
- 31日 第7回営農委員会

欧米では、よく見つけられるものですが看風機ともいわれ、古代では旗指物を立て、風の方向を見たり、旗印の紋章で家柄を示す役割を果たし、これが始まりと言う。

十三世紀に、ローマ教皇の命で各地の教会に取り付けられたのが風見鶏で、日本の教会



でも目にする事ができます。風の吹く方向であちらを向いたり、こちらを見たり、ある元首相も風見鶏のアダ名がついていましたが、それはさておき、この地方でも、牧場や農場風景の中に、個性的な風見があつてもいいと思います。

風見 のある風景

いっもーん 安全運転



今年はずいぶん、雪も少なく、夏と同じ様に、スピードを上げて走行する車が多いようです。路面が乾燥していても、カーブや建物の影になっているような所は、どうなっているか予測できません。季節に変わりにくく、スピードはひかえ目にする事は言うまでもありません。また、次の事も気を付けましょう。

- ◎吹雪等、視界不良の時は、日中でもヘッドライトを付ける。
- ◎駐・停車は、他の車の迷惑にならないように十分考えて。
- ◎無理な追い越しはしない。
- ◎ドライバーも歩行者も皆友達、安全運転はみんなの協力で、やさしい心遣いと、ゆとりのある運転を心がけましょう。

編集後記

新しい年を迎えて昭和天皇は、崩御されましたが、やっと心安らぐ事ができたのではないのでしょうか。昭和は、暗い厳しい時期から高度成長という輝かしい時期と、めまぐるしく移りかわりましたが、一つの時代が過ぎ、いま、一つの時代が始まる節目の時期でもあるようです。

平成という、すばらしい？元号が与えられましたが、歴史は忘れ去られ、知らぬ間にくり返されていたという事のない様、世の中を厳しく見つめていく必要があります。

先日、二月三日の節分に、中標津神社に行ってみました。厄年の人がたくさん厄払いにきていました。ふだんから信心深いという訳でなくとも、厄年は気になるところ、数え年で男は、二十五・四十一（大厄）・六十・女は、十九・三十三（大厄）が陰陽道で災難に会いやすいとされます。長い人生の中で、精神的にも体力的にも疲れは溜るもの、厄年を人生の節目とし、体をいたわり、鋭気を養って、また、新たに頑張って頂きたいものです。